

東北6県の労働局長が一齐にパトロール ～宮城では石巻で実施～

令和元年12月13日（金）、年末・年始の労働災害の発生を防止するため、東北6県の労働局長が一齐に建設現場のパトロールを実施しました。

宮城では、震災復旧・復興関連工事である排水ポンプ場建設工事（石巻市内）で代田雅彦局長ほか多くの関係者が参加してパトロールが行われました。

東北地方では、宮城を含めて冬季における労働災害が多く発生する傾向があることから、労働災害増加を防止するため、初の取組として東北6県の労働局長が一齐に公開安全パトロール^{（注1）}を実施しました。

宮城では、宮城労働局のほか、石巻労働基準監督署、「みやぎ復旧・復興工事新ゼロ災運動推進協議会」^{（注2）}が参加しました。

パトロールした現場は、清水建設（株）、大豊建設（株）、遠藤興業（株）による特定建設共同企業体（以下「JV」といいます。）が施工する「石巻市石巻中央排水ポンプ場他1施設復興建設工事その2」であり、ポンプ場ほか雨水排水施設の新築工事です。



初めに、JVから施工内容、安全衛生管理の取組について説明を受けた後、現場内を移動式クレーンの運転資格、足場の設置状況、タワークレーン同士の作業調整、掘削作業の安全確保、隣接工区との調整などを重点的に確認しました。



代田局長からは、「冬季は日没が早く、年末年始の慌ただしさ、積雪・凍結等の作業環境の悪化などの様々な要因が重なり合って、労働災害の多発のおそれがある。この工事は、石巻市民から期待され、また、全国から注目されており、復興工事として象徴的な現場である意味からも、安全・安全で魅力ある職場のモデルとして、労働災害防止のための取組を引き続きお願いしたい。」旨の要請を行いました。





宮城労働局では、12月1日から1月末までの間、すべての業種を対象として、「宮城における年末・年始労働災害防止強化運動」^(注3)を強力に展開中です。

経営トップによる安全衛生への所信表明・パトロールの実施、PDCAに基づく安全衛生管理年間計画の作成・実施、重機等機械災害防止のための適正な計画とその遵守、高所からの墜落防止、転倒災害防止のための設備等の点検と改善対策の実施など、各事業場の状況に応じて適切な取組をぜひお願いいたします。

※ (注1)、(注2)、(注3)については、それぞれ別添1、別添2、別添3をご参照ください。



宮城労働局では、「Safe Work ゼロ災 MIYAGI」の周知・普及を通じて、安全意識の向上に取り組んでいます。